

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念はグランアレグリアが優勝

6月7日(日)に行われた安田記念(G I)には同レース史上最多となる10頭のG I馬が出走し、昨年の桜花賞馬グランアレグリア(牝4歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝、2つ目のG Iタイトルを獲得しました。藤沢調教師はJRAのG I・30勝目となり、自身の持つ最多勝記録を更新。なお史上最多となる芝G I・8勝目(海外のレースを含む)に挑んだアーモンドアイは2着となっています。

●横山典弘騎手がJRA通算2万回騎乗を達成

6月7日(日)の3回東京2日・第3レースでブルーダイヤカフェに騎乗した横山典弘騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上6人目、現役6人目となるJRA通算2万回騎乗を達成しました。ブルーダイヤカフェは1着となり、横山騎手は節目の騎乗を勝利(2799勝目)で飾っています。

●2020年度顕彰馬にキタサンブラックが選定される

キタサンブラックが史上34頭目となる顕彰馬に選定されました。中央競馬の発展に特に貢献があった馬を選定する“顕彰馬”は、報道関係者による選定投票が毎年行われており、2020年度は、1999年4月1日から2019年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬が対象でした。投票者数(記者196名)の1/4(147票/記者1人あたり最大4頭まで投票可)以上の票を得ることが選定基準となっており、キタサンブラックは得票数158票(得票率80.6%)で選定されたものです。同馬はジャパンカップ、春秋の天皇賞、有馬記念などG I・7勝を含めJRA通算20戦12勝の成績を残し、2016年と2017年には年度代表馬に選出されています。

●2020年新種牡馬の産駒初勝利はドゥラメンテ

6月7日(日)の3回阪神2日・第5レースではアスコルターレ(牡2歳/栗東・西村真幸厩舎)が1着となりました。同馬の父は新種牡馬ドゥラメンテで、これは本年の新種牡馬産駒による初勝利となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●レーヌブランシュが関東オークス(川崎)で重賞初制覇

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月10日、川崎、2100m)は、好スタートから3番手に控えた2番人気のレーヌブランシュ(松山弘平騎手、父クロフネ)が、先に抜け出したアクアリーブル(船橋)を直線半ばで捉えて1馬身半差を付け、重賞初挑戦で初制覇。3番人気のクリスティが3着に入り、1番人気のセランは5着、逃げたアールクインダムは8着に敗れています。

●石川ダービーは無敗のハクサンアマゾネス【各地の主要3歳重賞】

石川ダービー(6月2日、金沢、2000m)は、後方から追い上げたハクサンアマゾネス(牝、父シルボート)が直線に入って間もなく抜け出し、単勝1.9倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。ぎふ清流C(6月4日、笠松、1400m)は、中団から差を詰めた4番人気の兵庫からの遠征馬コスモピオニール(牡、父リーチザクラウン)が直線半ばで差し切り勝ち。単勝1.3倍で圧倒的人気のドラゴンウォリアーは3着でした。東北優駿(6月7日、盛岡、2000m)は、7番手を追走した5番人気のフレッチャビアンカ(牡、父キンシャサノキセキ)が残り200mを切った辺りで先頭に立ち、スプリングCに次ぐ重賞制覇。ダイヤモンドCを圧勝して1番人気に推されたグランコージーは4着に終わっています。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英2000ギニー〜カメコが快勝、ピナツポは3着

新型コロナウイルス感染症の影響で例年よりも約1か月遅れの開催となったG 1英2000ギニー(3歳牝馬、芝1600m)が6月6日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われました。レースはO.マーフィー騎手が手綱を取ったカメコ(牡、父キトゥンズジョイ)が差し切り勝ち。昨年2つのG 1を含む6戦6勝で欧州最優秀2歳牡馬に輝いたピナツポは単勝1.83倍の1番人気に支持されましたが、伸びあぐねて3着に終わりました。1分34秒72でレースレコードを塗り替えたカメコは昨年11月のフューチュリティトロフィーS(オールウェザー1600m)に続くG 1連勝。マーフィー騎手と管理するA.ボールディング調教師はともにこのレース初制覇となりました。

●G 1英1000ギニー〜ラヴが突き抜ける

6月7日にG 1英2000ギニーと同様に、約1か月遅れで行われたG 1英1000ギニー(3歳牝馬、芝1600m、ニューマーケット競馬場)は、アイルランドのラヴ(父ガリレオ)が中団待機から突き抜けて4馬身1/2差で快勝。昨年9月のG 1モイグレアスタッドS(芝1400m)以来となる2つ目のG 1制覇を果たしました。鞍上のR.ムーア騎手はこのレース4年ぶり4度目の優勝、管理するA.オプライエン調教師は連覇で6勝目です。